

紺碧

調布稲門会 会報

2022.1 第55号

年2回(1月、6月)発行

事務局 石田欽也方

Tel 080-1021-9105

Fax 042-487-6872

E-mail toumonkai@gmail.com

URL (HP) https://tohmonchofu.

jimdofree.com/

編集責任者 潮田 健太郎

—「なんと55号」—

「紺碧」も回を重ね55号です。ところで「55号」から何を連想しますか？私は「コント55号」です。欽ちゃん(萩本欽一さん)と二郎さん(坂上二郎さん)の昭和史に残るコント・漫才の名コンビです。1966年10月1日結成ですから、コンビが継続していたら昨年は55周年でした。人々を爆笑の渦に包み一世を風靡しました。因みに私の名前は「欽也」なので、実は私も欽ちゃんなのです。時代が移ろい、社会や人間関係が大きく変容し、さらにコロナ禍で社会的分断が進行する世相ですが、コント55号にあやかり、親睦イベント、地域貢献活動、母校への寄与活動、同好会活動等を通じいつも笑いがある調布稲門会でありたいものです。「笑う門には福来る」を体現し、地域を始め世の中に人々に幸せを届けましょう。(幹事長 石田 欽也)

2021年 調布稲門⑩大ニュース

- ① **調布稲門会設立40周年記念事業の展開** 記念事業実行委員会を立上げ、記念パーティー等の企画検討の矢先に新型コロナ流行。めげずに、「紺碧」記念号、記念冊子の発行、記念品の作成・配布を敢行。会員皆様の執筆ご協力に感謝！
- ② **地域貢献活動の推進** コロナ禍での食糧問題に取り組み、前年に続く学生応援フードパントリーの継続やフードバンク調布の特別会員への参入。福祉まつりでは中止のバザーに代わる有志による寄付金活動を実施。→P2,3
- ③ **新体制の発足** 設立40周年を機に委員会の役割と機能の見直しを行い、構成メンバーを刷新。→P4 参照
- ④ **組織拡大・会員獲得のための対策を実施** 非会員への紺碧記念号の送付、QRコードつきはがきでデジタル勧誘
- ⑤ **情報ツールを駆使した新しいコミュニケーションの展開** オンラインで幹事会、新年会などを実施。メルマガの配信により、会員相互のコミュニケーションを図りました。 **メルアド更新の方、ぜひ事務局あてお知らせください。**
- ⑥ **40回定期総会を書面で実施** 対面での開催が困難なため、前年に引き続き書面総会を実施しました。
- ⑦ **多摩川・野川クリーン作戦** 感染防止策を取りながら、春秋の多摩川クリーン作戦と秋のクリーン作戦に参加しました→P3
- ⑧ **コロナ禍での同好会活動(アースカフェ、ウォーキング同好会等)** 活動中止を余儀なくされる同好会もある中、感染対策に配慮していくつかの同好会は活動を継続しました。→P7
- ⑨ **サッカー相馬勇紀選手、東京五輪で活躍** 日本チームはベスト4進出。相馬選手(名古屋グランパス所属)は、調布生まれ、市内の高校から早稲田大学卒業。調布稲門会準会員相馬友子さんのご令孫に当たります。
- ⑩ **「紺碧」集団編集体制へ移行** 54号まで長年担当された高原さんから引き継ぎ、55号からは広報委員・編集メンバーによるグループ編集へ移行。高原さん長い間お疲れ様でした。



2021.11.3. 発送作業。記念冊子と記念品で封筒はキチキチパンパン。



オンライン新年会でのBGM配信 2021.2.13

地域貢献活動 コロナ禍での取組

福祉活動

フードバンク活動

萩原 稔 (昭55教育)

調布稲門会のホームページでご報告の通り、設立40周年記念事業企画の一環として地域社会に貢献する目的で食品ロスや食糧問題を取り上げ、2021年8月にフードバンク調布の特別会員になりました。

フードバンク調布について少し紹介させていただきます。2017年12月に任意団体として立ち上げ、「食べられるのにもったいない。食べ物で社会をつなげます」の合言葉で生活困窮者や福祉団体への食品提供のボランティア活動をスタートしました。調布市の社会福祉協議会との連携のもと、その後も継続的な活動により、2021年10月にNPO法人として設立登記し、市内のサレジオ修道会ユースセンター内に倉庫、事務所を構え、食糧品の受け入れ、提供やセミナー、イベント企画、運営(直近では調布駅前のワクチン接種会場となったプレハブ建屋でコロナ困りごと相談会を開催)等の業務を行っています。稲門会で応援している学生応援フードパントリーにも毎回1人あたり2キロ、70人分のお米の提供をいただいています。

皆さんも食品を寄贈したいとか、食品の仕分け作業等のボランティア活動に興味のある方は是非ご

報ください。フードバンク調布につながる、その活動に協力していきたいと思



フードバンク調布内の作業風景

学生応援フードパントリー

山田 和子(昭49文)

11月27日(土)に「第4回学生応援フードパントリー調布」を開催しました。調布稲門会の皆様からの61,500円と市民からのご寄付金で70名分の基本食品(昭和女子大栄養学科チーム考案の栄養価を計算したレシピによる2日6食分1人3,000円)等を購入・配布しました。その他、フードバンク調布様提供のお米、菓子パン(木村屋総本家様)、レトルト食品とカップ麺(アフラック様)、リンゴ(JA全農長野様)、国領あくろす内市民活動支援センター設置専用BOXやフードドライブなどから寄付食品(約700点)、アマゾン欲しいものリストによる



ご寄付、調布市社会福祉協議会(社協)様からの女性用日用品など、持ち切れな

い程の食品等を渡すことが出来ました。参加した学生は9校に渡り、70名のうち45名が新規参加でした。

稲門会女性会員・準会員が、孫や子供に接するようにサポートし、とても和やかな雰囲気でした。

「学生応援フードパントリー調布」は2020年10月に第1回を開催、昨年4月に任意団体「調布健康支援プロジェクト実行委員会」を設立して運営しております。

引き続きのご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。



調布市福祉まつり

萩原 稔

稲門会の一大行事である福祉まつりのバザーは前年に続き感染予防のため見送られましたが、2021年は販売活動に代え「協力金・募金での参加」と「オンラインを活用しての団体PRでの参加」が第44回の福祉まつりの企画となりました。「あいはこちらから～つなげよう未来へ」のキャンペーンのもと、12月6日～1月28日の期間中、調布市社会福祉協議会のユーチューブチャンネルで福祉団体の紹介動画が配信され、福祉施設等に福祉まつり募金箱が置かれています。また、カフェ&ショップ巡りで福祉のお店を応援しています。

稲門会では有志による協力金・募金での参加を決定し、1月15日時点で25名、137,846円の寄付を頂きました。この協力金は運営経費(広報費用)を差し引いて福祉団体へ配分されます。因みに、2019年はバザー収益金から経費を除く255,805円を寄付しました。バザー販売の協力はできませんでしたが、これだけの寄付金を頂き、心より御礼申し上げます。現在も開催期間中であり、メルマガでお願いしましたが稲門会でも継続して寄付金を募っていますので、引き続き宜しくお願いします。

地域美化活動

萩原 稔

調布稲門会のイベントもコロナ禍でなかなか開催できませんでしたが、ホームページやメルマガでご案内の通り、地域社会との交流や貢献を中心とした「秋のイベント」として、調布市の2021年11月14日の多摩川クリーン作戦と11月27日の野川クリーン作戦に参加しました。天候にも恵まれ、秋色が濃くなった市内の2つの大切な川で環境美化活動ができました。毎年稲門会も積極的に参加していますが、全体像としていつから、どの位の参加者で、ゴミの回収があるのかご存知ですか？ 2021年の様子を含めご報告します。

多摩川クリーン作戦

始まりは昭和54年10月。春夏に実施。2019年秋は大型台風、2020年春はコロナ禍の為中止でしたが、同年秋から感染対策の上再開されました。当初は多摩川自治会が中心でしたが、最近では多くの野球・サッカー少年、ボランティア団体、企業、大学OB会等の参加もあります。緊急事態宣言が明けた事もあり、秋には春より多くの1009人、稲門会は例年の10名前後から今回は17人が参加しました。

回収の成果は、可燃260キロ、不燃200キロ、粗大400キロ、ビン36本、カン284本、ペットボトル932本。1人ひとりが拾う量は少なく、宝探しのような声もありましたが、やはり広い河川敷には多くのごみが散らばっているなあと再認識した次第です。参加した一人として嬉しく思いました。



長友市長を囲んで参加者一同

野川クリーン作戦

始まりは平成9年、毎年秋に実施。2020年に続きコロナ禍のため近隣の小中学校は参加見合わせでしたが、自治会、ボランティア団体、企業、大学OB会から69人、稲門会からは11名が参加しました。

回収の成果は、可燃60キロ、不燃100キロ、ビン13本、カン81本、ペットボトル81本。川のせせらぎと澄んだ水に青空が映えて穏やかな清掃日和でした。川の環境も改善され、鯉や鯰の他、カワセミも確認できたとの事です。多摩川もそうでしたが、三田会より参加者が多く、稲門会の環境意識の強さを感じました。終了後は数名で国領駅近くのファミレスで反省会がてら喉を潤し、お開きとしました。

来年も多くの参加者で環境美化に努めていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



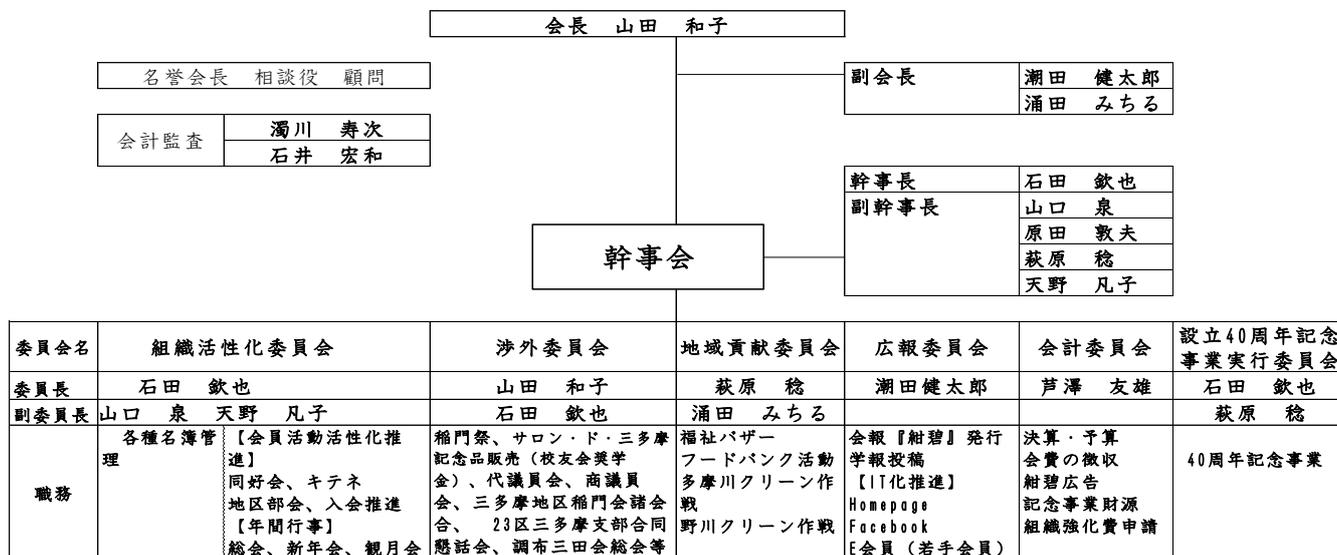
三田会参加者と共に

会長挨拶 新体制の始動

山田 和子



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。
 昨年祝うべきだった調布稲門会設立40周年記念式典、今年は実現を検討しています。
 調布稲門会の基本方針、「会員相互の親睦を深める」、「地域社会への貢献」、「早稲田大学の発展に寄与」を念頭に、6委員会を設置、地域貢献窓口の1本化のため「地域貢献委員会」を新設しました。
 広報委員会にIT化推進を加え、メルマガも開始しました。新規事業も少しずつ形にしていく所存です。
 コロナ禍でお会い出来てはいませんが、先輩諸氏の陰ながらのご支援をひしひしと感じております。この場を借りましてお礼申し上げます。そのお一人、椎原大輔元会長が、埼玉県に引っ越され、昨年9月に退会されました。お疲れ様、有難うございました。36年周期の五黄の寅、その年女として、今年1年精進致します。



調布稲門人 第6回 いつも真剣勝負！ 元大相撲 皇風関

直江俊司（なおえとしじ）さん（平成21年 スポーツ科学部卒）取材・構成 編集部・原田敦夫(昭52法)



早稲田大学出身の大相撲力士はたった三人、うち二人は戦前に現役であり、戦後はただ一人だけ、それが直江俊司さん（四股名皇風）である。直江さんは調布市で生まれ、現在市内で「相撲めし 皇風ノ店」を営業しています。そんな直江さんに話を聞いてみた。

★きっかけは「わんぱく相撲調布場所」

調布市の「わんぱく相撲」に小学1年生の時出場した。わんぱく相撲は各地の青年会議所が中心となって行われる小学生対象の全国規模の相撲大会だ。

「アメリカンスクールの子に決勝で負けたのが悔しくて毎年出場するようになりました。その後、2年、3年は、優勝はできませんでしたが、4年生から6年生の時は優勝しました。4年生から出られる国技館の全国大会を励みに、府中の道場に行くようになりました。中学3年生の時に、全国中学相撲選手権大会で、その後、関取になった強い選手を倒してベスト8に残ったのを明治大学附属中野高校の相撲部の監督が見て、声をかけてくれたので入学しました」。

しかし、明大中野は横綱若乃花、貴乃花が在籍したような名門で、有名選手も大勢いて、中高一貫校なので、中学から相撲一筋という子もいて、レベル差は歴

然としていた。「同級生の4人とは天と地の差でした。それだけでなく付属の中学生にも負けていて、マネージャーに任命されてしまいました」。

それでも強くなるために毎日早朝や稽古終了後に自主稽古を続け、高校3年の時には全員に勝つようになったという。東京都でもナンバー1になり全国大会に出場、様々な所から声が掛かるようになった。

★早稲田大学入学、そして大相撲の世界へ

いくつかの選択肢の中からスポーツ推薦で早稲田大学への進学を選んだ。



「相撲取りになるなら、日本体育大学、日本大学、東京農業大等の選択肢もありましたが、将来の色々な可能性を考え、早稲田がいいと思いました」。しかし、早稲田では目立った実績を残せず2年の時に怪我をしまい、相撲部の退部を余儀なくされた。

「相撲はやめてしまい、普通の学生生活を送っていました。就職活動もしましたが、自分が本当にやりたいことは何なのかと考えた時に、相撲をやり切っていないと気づきました。大相撲に挑戦する事はすごい決断になりますし、周囲からは厳しんじゃないかと言う声も多かったのですが、やるなら、3年間と期間を区切ってやろう、それで芽が出なかったら、すっぱり諦めて、他のことを何でもやろうと思いました。相撲を一度やめたからこそその選択だったかもしれません」。

尾車部屋を選んだのは、府中出身で同じ道場の先輩の若兔馬関から声をかけてもらった事や、中央大学出身の豪風関や日本体育大学出身の嘉風関など大学出の関取が多く、自分にとって環境がいいのではと考えたから。

厳しい稽古に励み、大学でのブランクを乗り越えて幕下優勝、十両優勝を経て幕内入幕を果たした。最高位は西前頭十三枚目であった。しかし、怪我に悩まされ2014年に惜しまれつつ引退した。

★もう一つの夢を実現

直江さんには大学に入る前から経営者になりたいという気持ちがあったそうだ。引退後、コンサルタントを経て飲食店の経営を行っている。「皇風ノ店」では、ちゃんこ鍋などの料理には独自のこだわりがあるとの事。

「料理は相撲界出身のスタッフの彼と相談しながら出しています。相撲部屋では大きな鍋で色々入れて大量に作りますが、その味を小さな鍋で再現するには工夫がいます。だしをどうとるか、調味料の配合はどうするとか、入れる野菜はとか」。

現在の楽しみはゴルフだと言う。

「腕はそれ程でもないですよ。90そこそこで回っています。ゴルフは面白いですよ。結果は全部自分の責任、メンタルスポーツですよ。そこは相撲と同じです。家族がみなゴルフをやるんですよ。負ければメチャクチャ悔しい。父もやりますし、3人兄弟の一番下の弟が一番うまい。家族だけで1組になって回れるので、周りからは親孝行だねと言われますよ」。

直江さんは相撲だけでなくビジネスでも趣味のゴルフでもいつも真剣勝負だ。我々校友も直江さんの真剣勝負の相撲料理を味わいに行きたいものである。



皇風(きみかぜ) 俊司 1986年9月23日生まれ

調布市出身で尾車部屋に所属していた元大相撲力士。現役時代の体格は身長182cm、体重135kg。得意技は突き・押し。とっさの変化も得意としていた。最高位は西前頭13枚目(2012年5月場所)、血液型B型。(ウィキペディアより)



My Favorite Things キルト作家 相馬 友子さん(準会員)

「布」と「色」で自分流に作る

編集部 川嶋 菊枝 (昭58文)

相馬さんの作品を初めて見たのは、2021年5月に、たづくり南ギャラリーで開催された創作展でした。カメや植物等がモチーフのハワイアンキルトや、色々な色柄の布を縫い合わせたベッドカバー等を想像していたのですが、相馬さんの作品は違った物でした。

編集部(以下編):元々キルトとはどういう物ですか。

相馬:アメリカの開拓民の婦人達が、布と布の間に麻袋等を挟んで3層一緒に縫



った物が始まりとされています。今は各国に様々な手法があり、私も色々な手法で作っています。

編:キルトとの出会いについて教えてください。

相馬:30年程前に、カナダでキルトを習得してきたところから基礎を習ったのがきっかけです。その後、好きな様にアレンジをして、作品を作ってきました。

編:創作展で見たタペストリーは、何十色もの小さな布がミシンで縫い合わせられて、細密な絵画のようでした。とても大変な作業と思いますが、相馬さんにとって、キルトはどんな点が魅力なのでしょう。また、大変だと思うことは?

相馬:私は、「布」と「色」が好きで、それで自分流に表現する事に喜びを感じます。イメージに合った

布を作るために、染色から始める事もあります。この「葡萄のステンドグラス」は、全部違う葡萄の色を自分で染色しました。大変だと思うのは、縫い合わせてみてイメージと違うとほどこかなければならない事です。



ガラスの様な光沢を感じさせるタペストリー。葡萄の下にハチドリとハイビスカス

編:ゴージャスなドレスやシックなスーツ等もあって、これもキルトなのかと驚きました。

相馬:ドレスやスーツは生地をキルトの手法で作って、それから仕立てます。私は桑沢デザイン研究所でドレスデザインを学び、ずっと服のデザインと仕立て

をしてきました。キルトも本来はウェアが専門なんです。

編:コンテストで何度も受賞されたと聞いています。

相馬:1999年から隔年で個展

を開いてきたのですが、私の作品を見た方の勧めで、2005年に「インターナショナル・キルトウィークコ



ンテスト横浜」のウェア部門に出品したドレスが2点とも賞を頂き、以後10年間連続受賞をしました。コンテストが私のチャレンジになったんです。2012年の「国際アパレルマシショー J I AM2012」

のコンテストでも、各国から応募

多数の中で、1点のみウェア部門で賞を頂きました。

編:これからはどんな作品を作っていきたいですか。

相馬:以前作ったビーズのバラのブローチが、パリのホテル・リッツで多くの方から称賛されたと聞き、以来ビーズのブローチ作りにはまっています。ブローチ一つで何でもない服がお洒落になる。お洒落は女性の喜びです。喜んで貰えるような素敵な物を作っていきたいです。

編:個展の予定はありますか。

相馬:今は具体的にはないですが、私の作品を見たい、見ると元気になるとおっしゃる方がいれば、またやりたいと思います。

編:「布」と「色」が大好きで、イメージ通りの作品を作るためには、時間と労力を惜しまない相馬さん。その情熱が他にはない作品を生み出しているといえるでしょう。次回の個展を期待したいですね。



インターナショナル・キルトウィーク2010「ウェア部門」で優秀賞を受賞。着用したベストはクレイジー・キルトの手法で相馬さんが作ったもの。



ピアノのお嫁さんのために作った黒いドレスとタペストリー「羅針盤」(後方)

元気はつらつ！同好会だより

◆ 語ろうアースカフェ

新型コロナ市中感染の波の狭間で、延期、再延期、再々延期した「モルドバ講座」全5回(アイヌ、コサック文化含む)講師:

言語学博士ウジーニン・エフゲーニー氏)と「ベルリンオリンピック映画上映会」(レニ・リーフェンシュタール監督オリンピア2部作「民族の祭典・美の祭典」)を何とか開催することが出来ました。

10月は、「国を持たない民族・クルド人の歴史と文化」を、デルタ株の市中感染が収まり、以前の活気が戻ってきたところで開講しました。第1回(10/31)「クルドの歴史」、第2回



ネウロス

(11/13)「クルドの文化、言語、宗教」の受講者は、それぞれ35名と43名でした。

手指消毒と検温はもちろんの事、定員は半数とし、講師席、受付、司会席の前には飛沫防止用パネルを設置、質問は用紙に記載してもらうなど、コロナ感染防止対策を取りながら、講座を運営しております。

クルド講座後半は第3回(1/16)「クルドの料理」、第4回(2/6)「日本で暮らすクルド人」、講師は日本クルド文化協会事務局ワッカス・チョーラク氏。問い合わせ先: kataroearthcafe20@gmail.com

山田 和子



モルドバワイン

化」を、デルタ株の市中感染が収まり、以前の活気が戻ってきたところで開講しました。第1回(10/31)「クルドの歴史」、第2回

◆ 秋の野川と深大寺・神代植物公園を歩こう！

天野 凡子 (昭56文)

今年度、ワンゲル同好会から改称したウォーキング同好会は、11月21日に第1回活動を実施。国領駅からスタートして馬橋で野川河川敷に降り、水辺の鴨や、まだ青々とした草地と河原石の感触を楽しみながら歩きました。途中、深大にぎわいの里の湧き水で喉を潤してから、少々急な坂を登りきって一気に下れば深大寺に到着です。近隣にお住まいのメンバーとも合流し、人気の矢田部茶屋さんでお蕎麦をいただきました。腹ごしらえができたところで参拝。深大寺観光ガイドのボランティアをされている原田さんに見所を解説していただき、限られた時間の中でも充実した見学ができました。



続いての神代植物公園は見頃のバラが思いの外残っていてちょっと得した気分。赤や黄色に染まった樹々に秋の深まりを感じながら園内を歩きました。

ウォーキング同好会はこれからも年2回の活動を企画します。その回ごとの自由参加ですので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

各同好会の代表者と連絡先



カラオケ同好会(コロナ前)今年度は再開できますように

囲碁	濁川 寿次	042-483-6966	
ウォーキング	天野 凡子	042-480-2503	minako-amano@view.ocn.ne.jp
語ろうアースカフェ	山田 和子	042-488-0741	kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp
カラオケ	潮田 健太郎	090-9231-8902	usshie@gc4.so-net.ne.jp
クッキングパパ	芦澤 友雄	090-8752-2586	ashitomo@mtg.biglobe.ne.jp
硬式テニス	保科 哲也	090-2547-6222	ted1201@jcom.home.ne.jp
ゴルフ	芦澤 友雄	090-8752-2586	ashitomo@mtg.biglobe.ne.jp
女性の会	山田 和子	042-488-0741	kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp
調布ダンス	元木 勇	03-3300-4554	
調布太極拳	石井 宏和	03-3326-3463	hiroisii@nifty.com
フラダンス	大谷 裕子	042-485-7489	onaona.mokihana@ktf.biglobe.ne.jp
ボランティア・ネットワーク	坊野 美代子	090-2174-0187	miyo.bono@gmail.com
麻雀	石田 欽也	080-1021-9105	kishida06080901@gmail.com

訃報 元「調布太極拳」同好会代表中野完二氏(昭35文)

40年前に調布稲門会設立準備委員に名を連ね、長らく太極拳同好会代表として活躍された中野完二さんが2021年3月11日に病気のため84歳で逝去されました。

中野さんは太極拳大家の楊名時氏に入門して名を挙げ、師範となり、自宅のある調布市を中心に楊名時太極拳の指導・普及に努めました。活動は1984年4月から始めた調布稲門会の太極拳同好会がその母体となり、いまではより広域的な調布太極拳同好会に発展し、近隣の市や区からも多数の一般参加者を得ています。気さくでまじめな性格もあって誰からも好かれました。中野さんは調布稲門会の新年会、総会、観月会などの宴席では、いつも息抜きを兼ねた簡単な太極拳の手技を指導して下さり、その姿が昨日のように思い出されます。謹んで中野さんのご冥福をお祈り申し上げます。(編集部・高原 浩)

令和3年度調布稲門会 年会費お支払いのお願い 会計担当

令和4年3月末で今期の会計年度は終了となりますので、年会費未納の方は至急お手配下さいませようお願い申し上げます。

この紺碧第55号お届け時に年会費お支払いの案内が同封の方が未納会員です。会費の入金は次の口座をお願いします。

①ゆうちょ銀行総合口座 記号 11300 番号 07777481 早稲田大学校友会調布稲門会 ②みずほ銀行調布支店 普通 0997965 調布稲門会

<編集後記> 「紺碧」の編集はこの55号から、長きにわたりお一人で企画から制作まで担当されてきた高原さんから、グループによる体制で引き継ぐ事になりました。勝手が分からない事も多く手探りで進めてきましたが、何とか発行に至った事に胸を撫で下ろしています。取り敢えず、何とかバトンは受け取りましたが、それを持って何処へ走っていくかは手探りの状態です。様々な形での会員の皆さんの支えが不可欠です。ご協力の程、宜しくお願い致します。(原田 敦夫 記)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 元祖 嶋田家 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>「露ろうアースカフェ」代表 山田 和子 (調布稲門会会長) 自宅 〒182-0035 東京都調布市上石原3-39-15 電話 042-488-0741 E-mail: kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</p>	<p>林建設株式会社 取締役社長 林 清一 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 株式会社住まいるスズキ 代表取締役 鈴木 光孝 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p>新技術 UVプリント 立体物などにフルカラーでダイレクト印刷 記念の贈答品やオリジナル製品をお求めの方に 名刺・ショップカード・ポストカード 記念誌・自費出版・アルバム等  株式会社 内田平和堂 ☎03-3300-7301</p>	<p>イベント・パーティー (株)正直屋グループ 住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-10 電話 03-3853-1171 FAX 03-3853-1493 http://www.shojikiya.co.jp/</p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内綜合法務事務所 行政書士 堀内正之 〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p>舟久保法律事務所 弁護士 舟久保 賢一 住所 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8 親和ビル5階 電話 03-6273-7917 FAX 03-6273-7918</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 調布クレストンホテル 住所 〒182-0026 調布市小島町1-38-1 調布バルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 http://www.crestonhotel.jp</p>
<p>早稲田大学賛助商議員 調布稲門会 顧問 元木 勇 自宅 〒182-0003 調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋沢 淳雄 住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 http://www.okomekan.net/</p>	<p>～～個人の方も法人の方も～～ 明石会計事務所 税理士 明石 純一 〒182-0026 東京都調布市小島町2-46-5 電話 042-486-6545 FAX 042-486-6123 https://www.akashi-office.jp</p>